

令和7年度第2回 早良市民センター運営審議会議事録

日 時 令和8年3月4日(水) 15時30分～16時40分
場 所 福岡市立早良市民センター 2階 実習室
委 員 【出席】5名 【欠席】2名
事務局 早良市民センター館長 外3名
指定管理者 2名

傍 聴 人 なし

○ 次 第

1 開 会

2 事務局あいさつ

3 議 事

(1) 協議・報告事項

① 令和7年度 市民センター利用状況について

② 令和7年度指定管理者事業について

③ 令和8年度指定管理者事業実施計画について

(2) その他

4 閉 会

○ 議事録

(議 事)

協議・報告事項

① 令和7年度 市民センター利用状況について

② 令和7年度指定管理者事業について

③ 令和8年度指定管理者事業実施計画について

指定管理者から説明・報告を行った。

①及び②についての意見・質問

(委員)ウィンターコンサートの来場者実績はどうか。

(指定管理者)演目によって観客の入れ替わりはあるが合計 470 名程度だった。

(事務局)令和7年度の利用者が減っている点については、設備面の工事など休館期間もあったため。トイレ・エレベーターもきれいになり気持ちよく使えるようになったと思う。

(委員)とても大事な点。駅もトイレがきれいになっている。

(委員)ウィンターコンサートの参加は13団体ということだが、市民センターには何団体ぐらいあるのか。また、利用者の年代別の利用者、どの年代が多いかなど、わかれば教えてほしい。

(指定管理者)音楽団体の数について、20 近くのサークルがあると把握している。音楽サークルの皆さんにウィンターコンサートの告知をすると、例年そのうち10団体前後の団体

に集まっていただけ。

イベントではアンケートをとっているが、例えばウィンターコンサートでは70代が54%。出演者も70代が多い。クリスマスコンサートや文化祭でも、70代が30%以上を占める。文化祭の「パンプキンアレンジメント」など親子参加のものは、40代と10代の組み合わせが多くなるが、全体的には高齢者が多い。

(委員)素敵なイベントがたくさんあると感じた。裾野が広がるように、子どもたちにも知ってほしいと思った。

(指定管理者)アンケート結果では、参加者の多くがリピーターである。初めての方、若い層をどう呼ぶかが大事だと思っている。

(委員)さわらフェスタの参加者の年代はどうか。AED体験の参加が80名とは多いと感じた。

(指定管理者)やはり全体的には70代が多かった。次いで60代の参加者が多い。さわらフェスタは3階会議室を4室使って様々な催しを実施した。AED体験では、40代の保護者とお子さんという組み合わせもあったが、メインイベントの消防隊コンサートが70代の参加が多かった。

(委員)非常食のつかみ取りなど面白い企画だと思った。もっと多くの人に情報が届けばいい。親子のダンスワークショップの定員は何人だったのか。

(指定管理者)事前予約制で、午前午後で各15組を募集した。各回30名程度の想定である。ホールの舞台を使って観客を入れずに行うため、スペースの関係上、人数が多すぎると動きづらいため少人数で開催している。申込みは定員の3~4倍あり、かなりお断りした状況だったが、当日キャンセルも多かった。当日のキャンセルを見越してどの程度受け入れるかが今後の課題と思っている。

(委員)音楽系の事業は、文化に触れるとてもいい機会だと思う。手話の講座も、行って初めてよかったと思えるイベントだろう。市民センターで開催する意義がある。利用者は70代中心なのは高齢社会なので不思議なことではない。親子で参加できるイベントも継続してほしい。子育て期は行き場所が限られて孤独を感じやすいが、学習意欲が高まる時期でもある。生き方が楽になることなどに会ってほしい。

(委員)センターの事業にはかなり参加している。色々ないい映画を上映してもらっている。「湯を沸かすほどの熱い愛」や「夕日のあと」など、公民館でも上映できないかと思うが、予算的に難しい。そういったこともあり、市民センターでいい映画を引き続きやってほしい。マスケさんのコンサートも非常に良かったが参加者が少なかったようである。地域のイベントに呼べないか検討したいと思っている。

(委員)市民センター事業は公民館だよりも載せるが、各家庭に公民館だよりも届くのが概ね月初めとなる。アルゼンチンタンゴのイベントの際に、手元に届いた時には既に予約が一杯だったようで、公民館に苦情があった。映画「52ヘルツのクジラ」も予約が一杯だった。ホームページも見ていただけるといいが、公民館だよりだけを見ている人には情報の伝達が遅くなることがある。市民センターは人気のイベントが多い。希望を込めて、センターにはどんどん事業をやっていただきたい。

(事務局)情報が伝わるタイミングによって予約が一杯になってしまった点について、事情を申し上げる。今年2月のアルゼンチンタンゴの事業はもともと年間予定になかったが、

昨年事業が大人気で入れなかった方も多かったので、昨年末から急きょ事業を計画したため、皆さまへの周知が計画的にできなかった面はあった。事前予約についてかなり悩んだが、やはり当日来られてお断りする方が影響が大きいと思い、このような方法をとることとなった。今後は、できるだけ申込みの不公平が出ることをないように計画的な広報を行いたい。

(委員)広報の中心は市政だよりや公民館だよりか。SNS、インスタグラムはしているか。

(指定管理者)インスタグラムはしていない。

(委員)インターネットでの申込みはやっているか。

(指定管理者)イベントのターゲットによっては、二次元コードによる受付をしている。

(委員)申込みがインターネットだけになると困る人もいる。そのバランスはよく見極めてほしい。若年層を呼び込むならSNSを使った方が効果的かもしれない。

(指定管理者)イベントごとにターゲットが違う。スマホ仕様になっていないホームページの改善検討も行っている。来場のきっかけを尋ねたアンケートでは、市政だよりは15%程度で、市民センターに来てイベントを知ったという方が30%で最多である。知人からが25%。ホームページはまだまだ少ない。ご指摘のとおり、インターネットだけでは届かない方もいらっしゃるので、多面的に広報を検討していきたい。

③ 意見・質問

(委員)詳細未定の事業が多いが、さわらフェスタは何か決まっているか。

(指定管理者)テーマについて、令和7年度は防災、8年度はSDGsで考えているが、SDGsは学校などでも様々に取り組まれているため、「もったいない」「サステナビリティ」をテーマにしたい。おもちゃのかえっこバザールは、去年の秋の文化祭では約4時間で250人ほど参加があった。そのほかにも、このテーマの趣旨にあった市の出前講座などを組み合わせることを考えている。

(委員)中高生ダンス大会について、昨年10月の運営審議会での意見を取り入れていただいており、素晴らしいと感じた。若い人はインドア傾向と言われているが、インドアで情報を得てから外に出ているようだ。ダンスが好きな若者の行き場所として、市民センターを活用できればよいと思う。

(委員)さわらフェスタは令和7年度は1月だったが、8年度は8月となっている。時期は決めているのか。

(指定管理者)第1回の今年度は1月にやってみたが、寒くて、多くの方に来てもらうのが難しいなどの課題はあった。親子で学ぶ機会にしたいと思い、8年度は夏に企画した。

(委員)8年度の文化祭は、「秋の文化祭」となっているが「秋の」としているのはなぜか。

(指定管理者)特に意味はない。

(委員)ダンス大会は日にちが決まっているが、ある程度、ここにターゲットを絞って準備してもらえるように、学校行事などとの関係もあるため、早めに告知した方がよいと思う。

(指定管理者)早めに発信したい。

(委員)高齢者もスマホを持っている時代で、インスタグラムでの告知は一般的である。事前予約の時に、先着順なのか、抽選なのかもある。先着順にして「間に合わなかった」となるよりは、一定期間で受付してその後まとめて抽選とした方が公平なのかなと思った。

(指定管理者)市民センターに来なければ得られない情報提供の仕方は時代に合っていないと思っている。親子ダンスの時は、抽選とした。今後も、申込みの受け方は、不公平のないように工夫していきたい。

(委員)前回会議で「子どもたちはダンスが得意、好きな子が多い」と話したが、今回、中高生ダンス大会を企画されている。日程としては、この時期は新人戦、地域のスポーツフェスタ、文化祭など色々ある。インスタグラムは確かに見るが、そこにたどり着かないと見られない。まずは学校にポスターを掲示してもらうのがいいかと思う。学校を回って、11月なら半年前、遅くとも夏休み前から広報するのが良い。仲間に参加する生徒がいたら、応援に行く生徒もたくさん出てくる。ダンス大会の賞を設けて目標にするのもよい。賞品目当ての子どもたちもいるかなと思う。どんな告知をしていくかだが、学校の中、昇降口にポスターが貼ってあったりすると目に止まる。子どもたちはタブレットも持っているのも入り口になる。ダンスをする子どもは意外とたくさんいる。ダンススクールに通ったり、グループを作ったりしている。予想はつかないが、早良市民センターには中高生はなかなか来ないだろうから、おもしろいかなと思う。

(委員)私も学校にポスターを貼るのが良いと思う。見た目で目を引くポスターが良い。全国的には、こういうコンテストがあって、そこに向けて取り組むのはよくある。時期を決めて、毎年この時期は早良市民センターのコンテストがある となったらいい。部活動でダンスはあるか。

(委員)中学の部活ではダンス部はない。みんな好きでやっている。

(委員)公民館でもダンスサークルが使っている。

(委員)男子もよく踊る。おそらく初年度はそんなに集まらないかもしれないが、次の年、その次の年と積み重ねられればよいのではないか。1年でやめてしまうのはもったいない。「よかったよ、賞品もよかった」と成功体験を積み重ねていければよい。定着するのに5～6年かかると思う。最初は地慣らしの気持ちで取り組むと良いと思う。

(事務局)市民センターにとってもチャレンジである。時期などご助言があれば伺いたい。

(委員)学校はどの時期も様々行事はあって、この時期がいいというものはない。ただ、固定の方がいい。定着していけばいい。中高生と市民センターの出会いの機会になれば良いと思う。

(委員)大学生は中高生ほど忙しくない人が多いかもしれない。学園祭などでは、大学生もよく発表している。中高生と技術的には変わらないのではないかなと思う。

(指定管理者)幅を広げるのもいいかと思うので検討したい。単独では出られなくても、合同発表なら出やすいなどあるかもしれない。

以上